

needs QCD (Quality: 品質、Delivery: 納期、Cost: コスト) を
総合的に向上させたい

1 個ずつ流して完全自工程保証とトレーサビリティ完璧化実現、 リアルタイムに生産状況を把握

会社名 : 住友電工焼結合金株式会社※
事業内容 : 自動車のエンジン部品等に利用される焼結部品全般の設計・製造・販売
従業員数 : 1,048 名
所在地 : 岡山県高梁市成羽町成羽 2901 番地

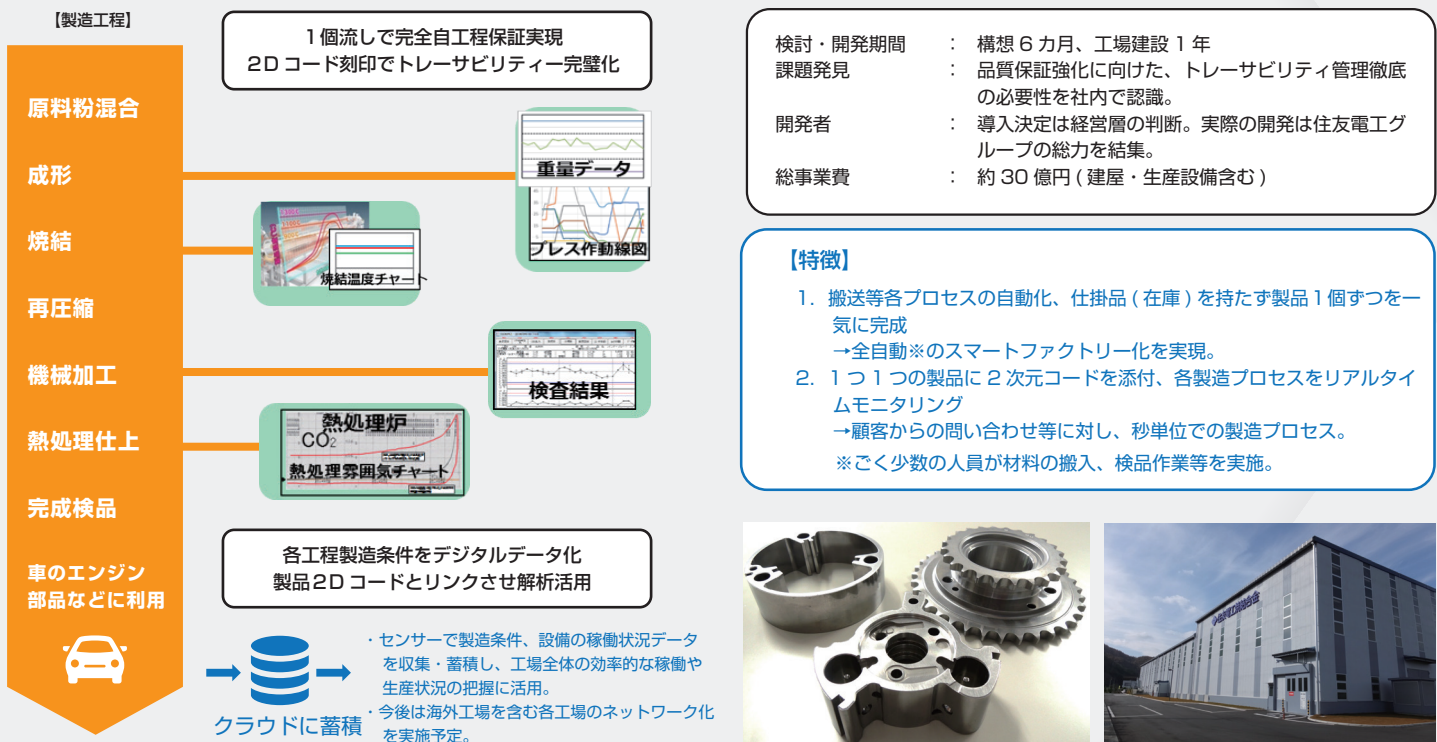
【お問い合わせ先】住友電工焼結合金(株)
広報担当: 総務部次長 石川 智規 ishikawa-tomonori@sei.co.jp
技術担当: 製品開発部部長 菅長 和彦 suganaga-kazuhiko@gr.sei.co.jp

※住友電工グループにおける焼結製品事業の本社機能がマザー工場の
役割を果たす

- 背景
- 品質基準が厳しい業界へ納品するため、一度不良品が発生すると、製造ラインの一部もしくは全体が停止する可能性がある。
 - 生産リードタイムが長く、流動仕掛増大で生産管理困難な事態。
 - 国内外問わず、優秀な技術者・技能者の確保が困難になっている。
 - 海外の売上比率が高く(16年度生産重量74%)、今後も海外への事業展開を加速させる。
- 膨大な金銭的・時間的損失が発生するリスクがある。
 - 顧客納期リスク。
 - 人材不足。
 - 世界中で安定した品質を確保するためには、生産プロセス製造条件のパッケージ化が必要。

効率的生産・
厳格な品質保証が
必要!

IoTを活用した課題解決の内容



導入成果

- 顧客流出不具合(品質クレーム)ゼロ。
- 生産リードタイムが既存ラインの10分の1に短縮。

成功したポイント

- 当該会社社長の肝入りの取り組みであり、生産技術エキスパートによるプロジェクト管理強化推進による。
- 自動車関連事業の需要動向が良い今こそ、IoT設備投資に取り組むべきという経営層の判断。
- 住友電工グループの優秀な人材を招集したため。

今後の展開予定

- 今までは、経験値で対応の外部環境要因に応じた各製造工程の調整作業について、数値化、見える化を進める。今後は、事前に製造工程でのシミュレーションを行い、最適な製造条件の選択を検討。
- 海外を含む他工場に、本工場で得たデータを反映し、さらに各工場をネットワーク化することで、より効率的な稼働や生産条件の把握に活用。